

第1回 2017年4月18日(火) : 第10期 一流塾 開塾式

2017年4月18日に第10期の一流塾が開塾しました。塾生は、「チャレンジ精神を持った起業家」、「2世・3世の後継者」、「大企業の経営幹部」の三種混合の計44名(平均年齢46歳)であり、業種、規模、地域が異なる様々な企業から経営者や経営幹部が集いました。また、第10期の女性塾生は10名に達し、一流塾開塾以来最多となりました。



一柳塾長

第1部では、一柳塾長から開塾の挨拶に続き、「出でよ、志ある経営者たち」と題して講話を頂きました。講話では、一柳塾長と想いを共有する各界一流の“ホンモノ”の講師陣に胸を借りるつもりでぶつかり、講師陣の貴重な経験や知識から“ホンモノ”を学んで欲しいと語りかけました。また、講師陣や仲間との絆を脱いだ交流により良いネットワークを構築すること、そのために人間力を高めること、一流塾を卒塾するときの成長した自分の姿をイメージしてこれから一流塾で自分を磨いて欲しいなど、塾生への期待と激励をお話し頂きました。

その後の塾生による1分間スピーチでは、それぞれの仕事や入塾に対する思いなどについて自己紹介が行われました。



福川特別顧問

第2部の開塾式では、一流塾特別顧問の福川伸次氏((一財)地球産業文化研究所顧問、東洋大学理事長、元通商産業事務次官)、同じく一流塾特別顧問の斉藤惇氏((株)KKRジャパン会長、前(株)日本取引所グループ取締役兼代表執行役グループCEO)、講師の渡邊五郎氏(元三井物産(株)副社長)をお迎えし、塾生への激励のお言葉を頂きました。

福川氏からは、一柳塾長が官僚を辞めて強い意志で独立し、日本の将来を担う若い経営者を育てようと一流塾を創設したことをご紹介頂きました。また、「着々寸進、洋々万里」の言葉と共に、塾生に対して、一流塾の講師陣の話から良く学び、日本の質を高める心構えで一步步組織の成長をリードして欲しいと励ましのお言葉を頂きました。



斉藤特別顧問

斉藤氏からは、10年後の日本の危機的な将来像やAI・ロボットの発達といった大きな変化が起こるなか、日本人が過去に捉われて古い考え方を捨てられないことへの強い危機感をお示しになりました。そのうえで、過去そのものを捨てて思い切って前に進んで欲しいと塾生を激励されました。

渡邊氏からは、残りの人生を豊かに生きることや、そのために自分らしく我儘に生きるといったお話しをされ、一度の人生だからこそ中身の濃い人生にして欲しい、そのために一流塾での縁を大切にしたいと塾生への期待をお伝え頂きました。



講師 渡邊氏



第10期一流塾 開塾記念撮影

記念撮影の後に会場を移して行われた懇親会では、冒頭の一柳塾長による開会の挨拶と、福川氏による乾杯の後、特別ゲストの小池百合子氏（東京都知事、元衆議院議員、元環境大臣・防衛大臣、自由民主党 元総務会長）から『東京大改革』と題して卓話を頂きました。

特別ゲストの小池氏からは、様々な課題を面白いと受け止めながら、常に都民ファーストの視点から前向きに改革する取り組みをご紹介頂きました。塾生は、小池氏の志の高さに感銘を受け、強いリーダーシップのモデルとして学ばせて頂いたと大変好評でした。

また、サプライズゲストとして、今回は安倍総理が駆けつけてくださいました。安倍総理は、第1期から第4期まで連続して塾にご登壇いただいていたのですが、節目となる第10期のスタートに合わせてお越しいただき、塾生を激励して頂きました。

※翌日の日経新聞朝刊の「首相官邸」の欄では、「19時30分 東京・丸の内のサピアタワー。「ステーションコンファレンス東京」で「一流塾」の会合に出席。」と報道されるなど、朝刊各紙には安倍総理の一流塾へのご出席が掲載されていました。



福川氏による乾杯の挨拶



特別ゲスト 小池氏



スペシャルゲスト 安倍総理

卓話後には、小池氏や安倍総理との記念撮影が行われ、その後、一柳塾長、福川氏、斉藤氏、渡邊氏、小池氏を囲んでの歓談や塾生同士の交流が盛んに行われました。塾生からは、「まさか日本のリーダーと東京のリーダーの二人が一流塾に来るなんて凄すぎる、夢みたいだ」、「講師やゲストの先生から貴重なお話をいただけることに感激した」、「様々な出身や年齢の塾生がいて自分の世界を広げられる」、「講師陣も塾生も志が高く、とても刺激になる」、「気さくな塾生ばかりで安心できた。良いネットワークが築けそうだ」といった喜びや期待の声があがりました。



懇親会風景



放談会風景

懇親会終了後には、塾生有志による一柳塾長を囲んでの放談会が行われました。塾生たちは、これまでの緊張が一気にほぐれてさらに会話も弾み、袴を脱いだ和気あいあいとした交流が夜遅くまで続きました。